

定例記者会見発言録

日 時：令和４年６月２８日（火）１４時～

場 所：伊達市役所東棟４階 ４０１・４０２ 会議室

出 席：市長、副市長、総務部長、未来政策部長、財務部長、
市民生活部長、産業部長、教育部長、こども部長、危機管理担当参事、

報道機関：福島民報社、福島民友新聞社、NHK 福島放送局

発表項目：市長から下記の内容について、別紙資料により説明

資料１ 令和４年３月１６日の地震に伴う被害状況および
被災者支援状況

資料２ 「だてフォト部」第２期生が決定！

資料３ （仮称）高子北認定こども園設置・運営事業者を募集

資料４ 「高校生対象伊達市内企業説明会」を開催

資料５ 梁川美術館企画展「星野富弘 花の詩画展 伊達展」

資料６ 全国ネットのラジオ番組を活用した伊達の桃ＰＲ

資料７ 北海道における伊達市産「桃」のトップセールス

資料８ 降ひょう被害に対する支援

資料９ 市内で開催される夏のイベント

《質疑応答》-----

（仮称）高子北認定こども園設置・運営事業者を募集について

■事業者に対する支援関連

記 者 こども園設置運営事業者募集について、今年の３月に建築資材の高騰などを理由に決まっていた法人が辞退されて再募集ということかと思いますが、用地とかは市が無償で提供するということですから、この建築資材の高騰ということを考えた場合に、市として何か補助だったりとか応募しやすくなるために何か後押しするようなことは考えていらっしゃいますか。

市 長 まず、建築資材につきましては今の現状の価格というのをしっかり調査をした上で、その価格に見合った形での支援ということになってくると思います。また国の方の補助もありますので、国のほうの補助が実際にそういった建築資材、それから燃料代の高騰に合わせた形になっていくように、しっかり国に対してそういった状況も訴えていきたいと思っております。また、併せて、前の募集の時には、伊達市内に幼稚園と保育園とかこども園とかを開設をしていた法人ということに限定していたんですけれども、やはりそれですとなかなか限られることもありまして、今回範囲を広くしたということもありますので、そういった中で応募が期待できるのかなというふうには思っています。

■開園時期について

記 者 現在の開園目標時期はいつになりますでしょうか。

こども部長 現在の目標は令和 7 年の 4 月の開園を目標としております。

記 者 当初の計画と比べてその遅れとかそういうのはあるんでしょうか。

市 長 当初は令和 6 年に開園ということで考えていましたが、やはり、この辞退ということもありましたので、半年から 1 年遅れるということになっています。

記 者 南東北の法人に広げたと思うんですが、他県の事業者が来るとしっかり定着するのかっていうような懸念を持つような市民の方もいらっしゃると思うんですが、そういった点についてはいかがでしょうか。

市 長 子供たちをしっかりと体制のもとで支援をしていくということを考えた場合に、近くのことよりも、そういった経験の豊富なところからの応募をいただいていくことも一つの方法なのかなというふうに思っています。また、実際には応募いただいた中から、しっかり審査をした上で決定をさせていただきますので、そういった不安のないように事業者をしっかりと選んでいきたいと思っています。

■バイオマス発電関連について

記 者 バイオマス発電についての住民への説明会が行われたと思いますが、その時建設について市は関与できないけれども、住民から要望があれば説明を行っていきたい。といったことを市長がご発言されてると思うんですが、そのあと市民からどういうふうな反応が寄せられたんでしょうか。

市 長 説明会を受けまして、市としましては市民団体のほうで説明は受けないということでしたので、市が代表して受けたということになります。そのあと市民団体のほうに市からその説明の内容については報告をしております。また、その中で事業者から受けた内容について説明をしたというところでありますし、また、その中で市民団体の方たちとは、今後の機会をとらえてですね。お互いに意見交換をするということの話をしております。その後市民団体との話もしておりますし、要望があれば私も出て参りますし、また事業者の方にもそういった市民からの疑問点に対して丁寧な答え対応するようにという話をしております。ですから、今後も市民の皆さんが不安がないように事業者に対応を求めていきますし市もそれに対して答えたいというふうに思っています。

記 者 今後、意見交換を市の方と反対している懸念を示している市民団体で行う際に、取材とかってできるような場合があったりするんですか。

市 長 お互いにいろんな話がありますので、やはりそれについては、一民間事業者と市民と市という関係がありますので、取材については直接の取材はそこではお受けできないなというふうに思っています。